



サルビアレター



一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して

Vol.3

2022年6月発行
燕市企画財政部地域振興課

地味に大変！ 「名前のない家事」を知ってますか？

「名前のない家事」とは料理、洗濯、掃除といった名前のある家事ではなく、名前もつかないようなちょっとした家事のことです。

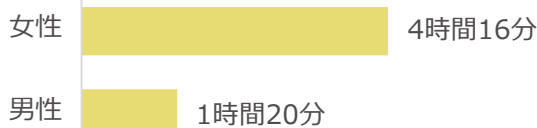
「脱ぎっぱなしの靴下をひっくり返す」「トイレトーパーの交換」「無くなりかけの麦茶の補充」・・・名前のない家事の一つひとつは小さなことでも、家族の中で誰かにかたよると大きな負担になります。

いまは働く女性が増え、共働き世帯も一般的になりましたが、家事や育児などはまだまだ女性が担うことが多いようです。

これくらいは誰かがやるだろう・・・と思わずに、家事は「家族みんなの事」としてとらえ、協力し合うことで一人ひとりにかかる負担が軽くなります。また、お互いを思いやることも増え、感謝の気持ちも生まれるはずですよ。

■共働き世帯の 「家事・育児・介護」に費やす時間

仕事の
ある日



出典：燕市企画財政部地域振興課「令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」

例えば、家族と一緒に食べる夕ご飯。料理を作る人にすべてお任せ！ではなく、「献立を考える」「食材の買い出し」「食器を並べる」「残ったおかずを冷蔵庫にしまう」など、それぞれができることから取り組んでみませんか？



「あなたらしい」を築く、 「あたらしい」社会へ

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。

今年度のキャッチフレーズは「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ。

これは内閣府がユース世代（15歳～20歳）を対象に、これからの自分たちが創り上げる未来をイメージしたキャッチフレーズを募集した中での最優秀作品です。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、一人ひとりの取り組みが必要です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみましょう。

燕市では「第3次燕市男女共同参画推進プラン」を策定しさまざまな取組を進めています。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。 URL▶



https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/2/26/index.html

講座・セミナーの
情報も随時
お知らせして
します！

5 ジェンダー平等を
実現しよう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

